

令和元年度理科授業改善セミナー

令和元年6月20日に、理科授業改善セミナーが開催されました。本セミナーは、CST等の指導力向上を図り、新学習指導要領が目指す理科の授業づくりを進めるという趣旨で、高知県教育委員会の主催で毎年開催されています。

本年度は、以下のような内容で開催されました。

セミナー内容

- (1) 取組発表 「求められる資質・能力を育成する理科の授業づくり」
(小学校発表者) 中級CST 高知市立三里小学校 中澤 悠子 教諭
(中学校発表者) 中級CST 高知市立城北中学校 岡林 耕平 教諭

中澤教諭からは、第6学年の「月と太陽」の実践を中心に、児童が追究したくなるような問いの設定、主体的な観測活動、児童の協働的な学びなどを重視した取組が紹介されました。

岡林教諭からは、第2学年の「いろいろな化学変化」の授業実践とともに、学校(理科部会)としての組織的な学力向上の取組が紹介がされました。

- (2) 協議 <テーマ> 理科の見方・考え方の成長で単元を描く

午前中の全体協議では、小・中合同により、「粒子の保存性」に関する系統的指導についてテーマに基づいた協議を行い、午後は小・中学校部会に分かれ、単元を絞り、より具体的で実践的な協議を行いました。

- (3) 講義
<演 題> 「新学習指導要領における理科の資質・能力を育成する学習指導の在り方」
<講 師> 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 鳴川 哲也 教科調査官
文部科学省初等中等教育局 教育課程課 野内 頼一 教科調査官

- (4) その他
○本セミナーにおいて、各CSTから提出のあったCST活動計画一覧を配付しました。
○昇級制度の周知及びその認定条件にも関わる高知CST養成プログラム聴講制度の周知を行いました。



【全体会の様子】



【グループ協議の様子】